

北九州市立旧百三十銀行ギャラリー指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	株式会社 COLT（コルト）（指定管理者候補団体）	ACE・文化財を守る会共同事業体
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1 指定管理者としての適性について</p>	<p>（１）施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 施設の設置目的 「新しい感覚アート空間！ NEW！旧百三十銀行ギャラリー」 ～さあ行こう！ニュー！百三十銀行ギャラリー～ 歴史的な建築物×ポップカルチャー＝新しい顧客の開拓（若者×インバウンド）</p> <p>（２）安定的な人的基盤や財政基盤 1. COLT スタッフ 7 名と TOKIWA 創（マンガ・イベントスタッフ）35 名（契約） イベント経験豊富なスタッフがローテーションで対応します。 2. 日本施設協会（別紙資料①）との協力関係により運営アドバイス（人員計画・警備計画・消防計画・防火管理者・イベント協力・AED 研修・運営マニュアル作成等）を受けながら運営を行っていきます。 3. 財政基盤：株式会社 COLT は 2015 年創業以来 9 年間黒字経営です。 直近 3 年間の年間売上 70,000 千円～81,000 千円で安定しています。 今期 10 期目（令和 6 年度）の売上目標は 100,000 千円です。財政基盤として 40,000 千円の運転資金有</p>	<p>（１）施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 【理念】 まちとひとに彩りを。旧百三十銀行ギャラリーで彩りを。 【基本方針】 <1> “まち” の文化財、歴史の保存・継承・活用 ▶建物の保存や地域の歴史の継承、活用に専門知識を活かして取り組む。 <2> “まち” の「文化観光」の拠点化（地域資源の磨き上げ） ▶立地や周辺環境などを活かした“地域・体験型文化観光”に取り組む。 <3> “ひと” の多分野・多世代交流、育成、活躍の場 ▶文化芸術を中心とし「ひと」にフォーカスし、多分野・多世代事業に取り組む。 <4> 施設のポテンシャル最大化 ▶安全安心な施設運営、コスト徹底削減、コンプライアンスの徹底等に取り組む。</p> <p>（２）安定的な人的基盤や財政基盤 【人的基盤】 指定管理に精通した経験者を配置／有資格者・経験者・学識経験者の充実 【財政基盤】 事業基盤に合わせた健全経営を展開／取引先の充実（信用の充実）</p>

(3) 実績や経験など

1. COLT は2015 年創業以来松本零士氏（零時社）と北九州市の999 等キャラクターマンホールや北九州空港メーテル人形を制作し集客イベントを行ってきました。
2. 全国の自治体連携会議会員参加（マンガ・アニメ・ゲーム・特撮）内閣府主催
3. クールジャパン機構推進会議福岡（内閣府。福岡県主催）にも登壇しました。
4. 2015 年～2017 年 KDCC（北九州デジタルクリエイターコンテスト・北九州市主催）
5. 2015 年～2018 年まで北九州市立子どもの館にて夏休み集客特別展（親子中心）
6. 2019 年北九州市主催アジアマンガサミット北九州大会2019 年（約2 年間大会事務局）
（里中満智子日本代表：日本とアジアのマンガ家による研究・発表会・作品展 300 点）
2018 年～2024 年の現在まで北九州市主催 CMJ（東京出版社：講談社、集英社、KADOKAWA、小学館、デジタルマンガ会社参加）イベント事務局 7 年間
7. 2021 年 8 月東京駅横 KITTE 東京にて昭和レトロ展開催（3,000 人規模）
8. 2023 年 2 月より人気マンガ家陸奥 A 子ギャラリー（花 Café）を運営

(3) 実績や経験など

- 【実績】北九州市内公共施設等の指定管理（代表企業、構成企業）ともに運営実績有。他にも管理運委託等の他、ソフト事業の企画運営も実績多数有。
- 【経験等】必要な専門的な知識やノウハウ、資格等を有する人材を多数保有。九州地域の社会、文化、歴史等の研究・調査、学術活動に関わる人材（専門学会員も多数）、学芸員、も在籍。

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

1. 「株式会社 COLT」運営ですが協力体制日本施設協会（運営実績多数）が運営指導

また新たな層の開拓として施設（北九州市施設と全国マンガミュージアム）へ営業

(2) 利用者の満足度

1. 利用者へのアンケートを実施し 100%を目指します。初回利用者は2 回目、その後毎年利用者へつなげます。利用者の「困った」を見える化します。

従来のアンケートとは別に「困った」ことを記入する記入アンケートを実施します。

2. 利用者のイベントを新規設置駐車場金網設置横 PR 看板（横 90CM 縦 60CM）で告知

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

【各基本方針に対応したアクションプラン】

●基本方針〈1〉：写真パネル展／歴史講演会／学会等の開催誘致、支援等

●基本方針〈2〉：宿泊や観光目的の来場を図れるシステム構築（日常展示等）他

●基本方針〈3〉：モノづくり事業の実施／古本無料交換市／／ギャラリー一利用促進他

●基本方針〈4〉：安全・安心な施設運営／コスト削減と管理／コンプライアンスの徹底遵守

(2) 利用者の満足度

利用者満足度の向上は、指定管理施設の健全運営に不可欠である。SNS 時代の現在は、社会的な評価＝個人の投稿（意見）となるケースも多く、フォロワーの多い少ない、情報の正しい正しくないに関わらず、良い評価も悪い評価も一瞬のうちに広がる。利用者一人ひとりに同じ気持ちで接し、公平平等にホスピタリティをもって毅然と対応していく。

【効率性】
に関する
取組み

(1) 指定管理料及び収入

有料利用者 144 日間（稼働率 40%）の内ギャラリー収入を達成して 144 日間の利用者収入とは別に旧百三十銀行マンガ（B6、12P 程度）を作成して 100 円で販売します。（500 冊目標）

旧百三十銀行ギャラリーグッズも作成して販売します。（年間目標 500 個販売）

(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

144 日間（稼働率 40%）利用者向けマンガパンフレットを作成して地元の団体（婦人会含）や個人クリエイター、専門学校、カルチャーセンターへ実際に営業に行きます。（参考②：桃園武道場リーフレット（COLT 制作））

(1) 指定管理料及び収入

指定管理者として適正な予算執行を行う。これまでの施設運営ノウハウから年間の収支計画に当たっては、無理のない収支計画となっている。出来る範囲で可能な限りコスト削減を図る。

「収入」は、民間事業者のように「利益」ではなく、市民サービスの向上につなげる必要がある。当共同事業体は、社会課題に対して事業（サービス）でコミットすることは日常的に展開。

(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

本指定管理業務の収支計画作成は、安定した施設運営を実現するため、これまでの施設運営実績や他の指定管理施設の情報収集、当共同事業体保有のノウハウに基づき、収入・種質ともに積算した。

また、法定設備点検等の再委託が想定される業務は、適正な会社経営を行っている地元事業者から見積もりを取得。

【適正性】
に関する
取組み

(1) 管理運営体制など

・受付・案内…1名(2名/1日4時間交代制)
(予約確認・施設案内・SNS)/4時間交代制(①10時~14時
(②14時~18時)

・イベント時サポーター…2名程度(イベント時での補助)

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

・警備…基本機械警備の実施(地元の警備会社と再委託契約予定)
・防火管理者…受付スタッフは防火管理者研修を受け資格を取得し
ます。

・AED研修…上記消防経験者によるAED研修を行います。1回/年

(3) 社会貢献・地域貢献

・高齢者の参加型展示会を実施します。(家紋・歴史・個人収集展)
市民参加型で展開します
・北九州市「おやじの会」の会員の方に運営を手伝っていただきま
す(高齢者パートスタッフ)
・一般社団法人北九州市老人クラブ連合会会員の方(高齢者パート
スタッフ雇用)
・ひきこもりや社会参加が苦手な若者をアートの力で社会参加を体
験します。(パート雇用)

提案額(千円)

令和7年度	7,637千円
令和8年度	7,734千円
令和9年度	7,746千円
令和10年度	7,760千円
令和11年度	7,608千円

(1) 管理運営体制など

本指定管理業務は、共同事業体として提案。共同事業体内の情報
共有はもちろんのこと、施設に従事する「従事者」とJV本部との連
携は密であり、共有等を迅速かつ的確に行えるよう、DX活用など、
環境整備を含めて準備する(提案書P4参照)

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

共同事業体内のコンプライアンス(法制度の遵守と対応/内部統
制/倫理・行動規範/情報管理)の徹底は、指定管理者として果た
すべき基本的な義務であり、社会的責任の根幹であるとの考えを大
前提として業務にあたる。

(3) 社会貢献・地域貢献

指定管理者として、地域貢献・社会貢献は社会的責任として取り
組むべきことである。地域社会との連携を強化し、地域の活性化や
シビックプライドの醸成、社会的なつながりの促進する上でも必要
不可欠である。当共同事業体は、NPOとNPOによる構成である。地域
課題や社会課題に対して事業でコミットするのがNPO法人である。
今回ご提案の各事業は、全て地域貢献・社会貢献につながり、かつ
持続可能な地域社会の実現に向けた基盤を築くことに貢献する。

提案額(千円)

令和7年度	8,172千円
令和8年度	8,172千円
令和9年度	8,172千円
令和10年度	8,172千円
令和11年度	8,172千円